

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)海老名市東柏ヶ谷六丁目マンション	階数	地上12F
建設地	海老名市東柏ヶ谷六丁目1438番7ほか3筆	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	228 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年3月27日
敷地面積	2,104 m ²	作成者	(株)エス・ティプランニング
建築面積	530 m ²	確認日	2016年3月27日
延床面積	4,639 m ²	確認者	(株)エス・ティプランニング

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7 ★★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 63%</p> <p>③上記+②以外の 63%</p> <p>④上記+ 63%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.9	Q2のスコア = 3.0	Q3のスコア = 3.1
音環境: 3.0, 温熱環境: 4.6, 光・視環境: 3.8, 空気質環境: 3.6	機能性: 3.1, 耐用性・信頼性: 3.0, 対応性・更新性: 2.8	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 4.0, 地域性・アメニティ: 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.4	LR2のスコア = 2.8	LR3のスコア = 3.3
建物外皮の熱負荷: 5.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 5.0, 効率的運用: 3.0	水資源: 3.4, 非再生材料の使用削減: 2.6, 汚染物質回避: 3.0	地球温暖化への配慮: 4.4, 地域環境への配慮: 2.9, 周辺環境への配慮: 2.5

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>◇室内環境に優れ、長寿命な建物を建設する。</p> <p>◇設備、構造、外構計画それぞれに省エネルギー化に配慮した設計を行う。</p> <p>◇敷地内空地の確保に努め、周辺環境に配慮した計画とする。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>◇住戸サッシには複層ガラスを採用した。</p> <p>◇主採光面はバルコニー付とし、カーテンレールを設置する計画とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>◇住宅性能表示制度の劣化対策等級3相当を設定した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>◇敷地境界からの離れを十分に確保した配棟により、街並み景観形成に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>◇住宅性能表示制度の断熱等性能等級4相当を設定した。</p> <p>◇LED照明器具、燃焼系潜熱回収型給湯器を採用し、建物の省エネルギー化に配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>◇節水型便器を採用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>◇自治体の基準緑地率7%以上を確保し、温熱環境悪化の改善に配慮した。</p> <p>◇駐車場、駐輪場の十分な確保に配慮した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される